

A Study to Reconstruct the Annual Variation of Summer Minimum Temperature in Kochi City from Annual Tree-Ring Widths

Nobuyuki TAKECHI*

* *Tosajoshi High School, 2-3-1 Outesuji Kochi City 780-0842, Japan.*

(Received 17 January 2005 ; Accepted 14 October 2005)

第3回天気予報研究会開催のお知らせ

日時：2006年2月17日(金) 13時30分～17時30分

場所：気象庁大会議室(気象庁5F)

千代田区大手町1-3-4

主題：「集中豪雨の短時間予測」

総合講演：

加藤輝之(気象研究所予報研究部)

「集中豪雨の環境場とメソスケール」

講演：

1. 日本気象予報士会

題目未定

2. 瀬古 弘(気象研究所予報研究部), 熊原義正(大

阪管区気象台), 斉藤和雄(気象研究所予報研究部)

「大阪湾付近から発生する線状降水帯の発達・衰弱とその環境」

3. 入田 央((財)気象業務支援センター)

「予報現場が求める豪雨予報の天気系概念モデルと指標」

4. 海老原 智(気象庁予報部予報課)

「降水短時間予報の現状と今後」

5. 富山芳幸((株)ウェザーニューズ)

「防災情報のリードタイムと降水量予報の精度」

6. 中山 寛(気象庁予報部数値予報課)

「2005年9月4日から5日の首都圏豪雨の予測と発生・維持機構」

7. 川畑拓矢・瀬古 弘・田宮久一郎(気象研究所予

報研究部)・黒田 徹(気象研究所(JST重点研究

支援協力員))・斉藤和雄(気象研究所予報研究

部)・露木 義(気象庁予報部数値予報課)

「雲解像度非静力学4次元変分法データ同化システムを用いた練馬豪雨事例に関するデータ同化実験」

8. 総合討論

各発表の講演要旨は天気予報研究連絡会ホームページ(気象学会HP→研究連絡会ページ→天気予報研究連絡会HP, または<http://members.jcom.home.ne.jp/tenkiyoho/>)をご覧ください。

主催：日本気象学会天気予報研究連絡会

問い合わせ先：連絡会事務局：山岸米二郎

(0718091101@jcom.home.ne.jp)